

あま 海士町社会福祉協議会 VOL.111 2022 夏

暮らしをちょっと楽しく、
ちょっと豊かにする情報誌

法人合併契約調印式
ひまわりデイサービス笑顔のレシピ

ひまわり活動写真 2022 夏

民生児童委員「ふれあい」

…AND MORE



発行：社会福祉法人 海士町社会福祉協議会

〒684-0403 海士町大字海士 3969 番地 1 保健福祉センターひまわり内

電話 08514-2-0010 Fax08514-2-0600

E-mail : ama-syakyo@snow.ocn.ne.jp URL : www.acsw.sakura.ne.jp

合併調印式で握手をするだんだん田中理事長(左)海士町社協幹事会長(中)あま福祉会村上理事長(右)



合併の課題を未来に残さない

令和4年7月27日水曜日
海士町役場3階大会議室において社会福祉法人海士町社会福祉協議会(以下社協)、社会福祉法人あま福祉会(以下あま福祉会)、社会福祉法人だんだん(以下だんだん)の法人合併契約調印式が海士町長、副町長、各法人理事等の立ち合いのもと挙行されました。今後しかるべき手続きを行い令和5年4月1日に社協はあま福祉会、だんだんと合併することになります。

法人合併契約調印される

法人合併は平成27年のサービスタウン調整責任者会議から議論が始まりました。一度は時期尚早と保留になりましたが、令和2年7月に「島の高齢者・障がい者福祉施設のあり方を考える会」として復活、令和3年4月には「合併準備委員会」が設立されました。数々の議論を重ね、合併準備委員会12回、代表者会議30回(各法人の理事会、評議員会承認の上、今回の調印に至りました。



合併準備委員会の様子

準備委員会では海士町の未来の考察、合併のメリット・デメリット、サービスタウン再編成、各法人の経営状況や組織の現状などが協議されました。その中で、団塊の世代が75歳になる超高齢者社会(2025年問題)や地域福祉の課題が複雑で多岐にわたってきた昨今は、3法人が1つの組織になって立ち向かわなければ太刀打ちできない。また、人口減少によりいざれば法人合併が余儀なくされるならば、次世代に合併の課題を残さないという思いが合併の大義となりました。調印まで42回の会議を行いました。4月に向けてまだまだ議論は続きます。

法人合併契約書の主な内容

- 法人の名称は海士町社会福祉協議会
- 合併の期日 令和5年4月1日
- 事業は海士町社会福祉協議会の定款で定める
- 役員及び評議員定数
 - ・理事7~9名 ・監事 2~3名
 - ・評議員15~20名
- あま福祉会、だんだんの財産、権利義務、職員等は社協が引き継ぐ
- 新たな取り決めは3法人で協議する

契約書はひまわり事務所にて閲覧いただけます

合併について杵築会長に聞いてみよう



杵築泰久会長

会長、合併すると今のサービスって変わりますか？

現在、福祉サービスを使っている利用者さんは、そのまま変わらず利用していただけます。合併のために現行のサービスを廃止したり、増やしたりしないので、サービスは変わりません



何も変わらないのに何のために合併するんですか？

いい質問ですね。合併をする令和5年4月には今までのサービスを存続するけど、3つの法人が1つになって、これからの海士町に必要なサービスは何なのか検討していきます。そのために一つの法人になりました



諏訪苑とかだんだんの職員とお話したことがないです…

同じ福祉に関わっていて、それぞれに悩みを抱えているけど、法人が違うだけでお話する機会もなかったですね。これからは色々なことを一緒に話し解決する、それが海士の福祉のためになると思います。合併で何か期待することがありますか？



う〜ん 何だろう 楽しく働きたいですね あっ今も楽しいですよ（笑）

それは一番大切なことです。合併して大変なこともあると思うけど、現場が楽しく働けていれば、利用者さんの満足につながるし、これから福祉現場で働きたい人も増えてきますよね



まだ分からないことが多いので、また質問してもいいですか

はい。4月の合併に向けて協議が続いていて、まだ決まっていないことも沢山あります。決まり次第、町民の皆さまや利用者、職員の皆さまに伝えていきたいと思えます



安部恵子さん
みんなに愛される
ひまわりの元氣印
事務担当



海士町社会福祉協議会 実績報告

検索

令和3年度 事業報告・決算
理事会（6月14日）定時評
議員会（6月28日）が開催さ
れ令和3年度の事業報告、決算
が承認されました。
皆さまのおかげでコロナ感
染が続く中、事業を完了するこ
とができました。詳しい内容は
事業報告書、決算書（計算書類
及び財産目録）として事務所に
て閲覧していただくことが可
能です。また、海士町社会福祉
協議会ホームページにも掲載
していただきますのでご覧くださ
い。

ひまわりデイサービス笑顔のレシピ

快適福祉車両 編

外出して太陽光を浴び人と交流することは健康維持にとっても大切なことです。乗り降りがしやすい福祉車両が利用者さんと介護員の笑顔をつくりました（^^）



車内も広く 乗り心地もいいですよ



福祉車両 NBOX

この車は後部座席を倒すと車いすで乗車できます。乗り降りも簡単、電動ウィンチが車いすを引っ張り上げてくれるため介護の負担も少ないです



軽自動車なので狭い道でも運転しやすい（^^）福祉車両に興味がある方は、ひまわりデイサービスセンターまでご連絡ください（☎2-0010）

アルミのスロープなので軽い！

車いすを引っ張ってくれます

「ヘルパーとして災害対応を考える」
最近大雨などの豪雨やコロナ感染症など身近に災害を感じる事が多いです。基本的にヘルパーは災害が発生しても利用者への訪問を止めることは出来ません（軽度の方はご遠慮いただきますが）。
災害はもちろん怖いですが、その恐怖に打ち勝つには準備しっかりすること。災害を想定した訓練や感染対策、災害対応の物品整備が重要だと思います。

「ヘルパーとして災害対応を考える」

世界から介護が無くなる前に

災害対応することで、日ごろからの準備の意識やチームでコミュニケーションをしっかりとるなどヘルパーチームの基礎体力がアップしていると思うこの頃です。

介護の仕事 最高に面白い



これシェアしたい

～ 何気ない対話や出来事に喜びを感じる移住生活 ～

野田真澄さん 介護支援専門員

海士町で暮らし始めて2年目となりました。仕事に子育てに地域の方ともお話をさせて頂く機会はたくさんあります。そんな私も生活を始めていく内に確信した事があります。日常には、『いつも当たり前ではなく同仕事の繰り返しはない』と感じています。普段何気ない対話からの気づきや誰とでも



会話できる空間（居場所）での居心地の良さ…。斬新な学びや素敵な出会いのチャンス！毎日貴重な瞬間が積み重なり、大切なものに気づかされる日々を過ごしています。



我が子と楽しんだ休日の一コマ

これからも海士町の魅力を感じながら、自分磨きができたらいいなあ。

ふれあい

月に1回小学生の下校を見守っています



通学路にあるカーブミラーを掃除しました



新生児訪問 お祝い品をプレゼントし顔つなぎをしています

～広げよう 地域に根ざした 思いやり～

小学校と中学校で挨拶運動をしました



愛情たっぷりのさつまいもを福祉施設に寄付しました

委員同士の日々の活動や悩みなどを共有しています



隠岐の島町にてよりよい関りかたを学びました



私たち民生児童委員はすべての人びとの笑顔のために活動しています

ちょっと教えて～ 社協ケアマネさん!!

第3弾 居宅ケアマネジャーのとある一日



居宅ケアマネジャーは、在宅で介護を必要とする人のサポートやサービス調整をすることが主な仕事です

利用者
本位

安心

信頼

自立



海士町社協ケアマネのとある1日に密着

利用者、家族が住みよい生活を送れるように 介護の相談 総合相談 等等



8:30 **出勤**

申し送りと夜間から早朝までの問い合わせを確認、関連先の相談業務をします。

13:00 **サービス事業所へ訪問や電話で状況把握**



利用者の様子やサービス内容、目標に沿って支援しているのか等を確認します。

9:00 **スケジュールの確認**

スケジュールを確認、ケアマネ同士で伝達事項を共有します。

14:00 **住宅改修や福祉用具の購入申請代行**

関係書類を作成し保険者(隠岐広域連合)へ提出します。

利用者や介護者からの電話相談対応



入浴ができなくて困っている…
認知症の進行が心配… 等々

15:00 **利用者宅でサービス担当者会議を開催**

家族、サービス事業所のスタッフと意見交換会しケアプランが決定します。

10:00 **担当している利用者宅へ訪問**

利用者宅に訪問し様子をお聞きし、今後のサービスに向けて目指したい事を話し合います。
(モニタリング・アセスメント訪問)

16:00 **事務**



○不在時に来た連絡をチェックして用件対応
○会議の情報をパソコンへ記録・保管
○給付管理業務
(ケアプラン整理や請求業務などなど)



12:00 **昼休憩**

一息ついてリフレッシュです。(^^)/

17:15 **社協職員間で情報共有**

一日のスケジュールを無事に終えます。

17:30 **終業・退社**

明日に備えて体調を整えます。

今できること、知って欲しいこと



サマーボランティアスクール 7/29

毎年夏休み海士中学校 3年生を対象に、福祉学習、ボランティア、ふるさと学習などのミッションをクリアしながら体験学習していくプログラム。今年にはコロナの関係で日帰りとなりましたが、9名の参加者がいい汗をかきました。



様々なミッションに 120%の力で乗り越えていくメンバーでした。夕食が黒焦げでしまったり、時間が押してしまったりとヒヤヒヤする場面もありましたが、参加者のみんなは「大丈夫でしょ」「もっとうしよう」と互いに声を掛け合い、前向きに取り組んでくれました。これからも様々な壁に当たると思いますがまわりの人に助けられたり、助けたりしながら進んでいってほしいです (咲)



※サマーボランティアスクールは皆さまからいただいた共同募金を財源しております



編集後記

◆8月27日、「コロナで3年ぶりとなるキンニヤモニヤ祭りのパレードが開催された。踊り手は通常の1/5で学校や事業所の参加はほとんどない。その中で海士町社会福祉協議会は参加した。

◆住民の中には福祉団体の参加に不安な思いをもった方もおられると思う。もちろん踊っている最中もマスク着用する、例年のように集まって食事をしながら花火を見ないなど感染対策を徹底した。

◆WITHE「コロナの社会参加を」社協がしないと、地域福祉などの行事や企画が動かないという社協の思いがそこにある。「コロナに負けない・・・」(一)

